

「金町駅北口周辺地区の短期的な取組について」説明会報告

日 時：平成23年 7月10日（日）午後7時00分～8時00分

平成23年 7月12日（火）午後7時00分～8時45分

場 所：金町地区センター 5階ホール

参加者：平成23年 7月10日（日）40名

平成23年 7月12日（火）31名

「質疑応答の要旨」

1. バス通りの歩行空間の確保について

Q 街路樹及び街路灯を撤去することにより、歩道のサービス水準がA水準になるとの説明ですが、自転車の通行なども加味するとそれほど歩きやすくないと思うのですが？

A サービス水準はあくまでも大きな開発を検討する際の指標のひとつです。通行量を想定するにあたり、大学から提供された時間割などを基に、また、自転車については、1台を歩行者2人分として算定しました。一方通行にして車道幅員を狭め、歩道幅員を広げるなどの案も検討しましたが、様々な意見もあり調整に時間を要するので、短期的な取り組みとして今回の提案をしたものです。道路の幅員については、中長期の課題として今後も検討してまいります。

Q イトーヨーカ堂の駐輪場については、区や地元の負担で整備を行うのではなく、イトーヨーカ堂自身が建物を改良するなどして駐輪場を確保して対応すべきではないのでしょうか？

A イトーヨーカ堂に対しては、放置自転車を防止するために積極的な協力を求めると共に、必要な自転車駐車施設の設置に努めてもらっております。今回は、バス通りの歩行空間を確保するために壁際の自転車置き場の移設を要請し、併せて、移設先としてイトーヨーカ堂裏の軌道敷跡地を利用した駐輪場設置についても提案をしているもので、引き続き協議を行ってまいります。

Q この辺りは緑が少ないと感じていますが、街路樹を撤去するということで緑がさらに少なくなります。逆に増やす計画はないのですか？

Q 街路樹は伐採するのですか？伐採するなら反対です。

A 現状の道路幅員では、緑を増やすことは難しいと考えています。周辺の道路整備などで緑が増やせるか検討してまいります。なお、新宿6丁目に7ヘクタールの公園整備が行われるので、広域的な視点で見れば緑の空間は増えていきます。

また、現在の街路樹は、伐採するのではなく金町スイミングクラブ（旧KSC跡地）の空いているスペースなどに仮移植する予定です。移植して根付くかどうかは未定で、移植に耐えるものは多くはないと考えますが、その中から利用できるものについては活

用していきます。

2．イトーヨーカ堂西側道路の拡幅（一部）及び歩道の新設整備について

Q 金町自動車教習所の出入口付近はどのように整備するのですか？

A 建物と道路の間を歩行空間として使用させてもらうことについて、所有者と協議中です。また、踏切の跡地が盛り上がり、見通しが悪いことから、道路の形状は出来るだけ平らなものにしたいと考えています。

Q 工事を行う際は、歩行者通路を確保してください。

A 施工にあたっては、区有地を利用して歩行者通路を確保するなどの方法で、歩行者の安全を十分確保いたします。

3．三菱専用軌道敷跡地の歩行者通路整備及び駐輪場整備の構想について

Q イトーヨーカ堂裏に駐輪場を設置する際の防犯対策が心配です。

A 防犯対策については、当該駐輪場内の照明を明るくすることや深夜の出入口の閉鎖なども含め検討してまいります。

Q イトーヨーカ堂裏の軌道敷跡地から直接駅に接続するのですか？

A 現状では軌道敷跡地から直接駅前に接続することは考えておりません。1つには、駅よりの跡地にはまだ鉄道のレールが残り、鉄道信号機等の配線がつながっており撤去時期の見通しがついていないためです。また、隣接する土地・建物所有者に対し敷地内の通行を打診しましたが、防犯上の問題等から断念いたしました。

Q 軌道敷跡地を利用した歩行者自転車通路について、東京理科大学側の出口の横にはマンションの公開空地があり子供たちが遊んでいます。自転車が通行すると接触事故等が起こらないか心配です。十分な安全対策をお願いします。

A マンションの公開空地と接する箇所については、利用者が自転車等と交錯しないよう十分に配慮した設計といたします。

Q イトーヨーカ堂の前の駐輪場を撤去するとのことですが、人情として重い荷物を持って帰ることから、駐輪場は入口に近いほうが良いと思います。裏に駐輪場を持ってこられても、そこまで行くのは大変です。いけないのはわかりますが取り締まるのでしょうか？

A 区では、イトーヨーカ堂に移設するよう要望しており、移設後も放置自転車には厳しく対応したいと考えています。イトーヨーカ堂とは今後も協議を重ね、理解を得たいと考えています。

4．金町駅北口駅前広場の改修について

特にご質問、ご意見はありませんでした。

5．区で取得した(金町スイミングクラブ(旧 KSC)跡地)の暫定利用について

Q KSC跡地は今後どのように整備していくのですか？

A 当箇所は、本年6月末に土地を引き継ぎました。今後の金町駅北口地区の街づくりの際の種地や代替地等として利用する予定です。現在、関係者と協議中であり、計画が固まり次第、お知らせいたします。

Q KSC跡地のすぐ近くに居住していますが、砂埃を大変懸念しています。また、先日マスクを着けた作業員の方が何か散布していました。何を散布していたのでしょうか？この作業にあたって近隣に何も連絡がないまま行われたので非常に憤っています。また、放射性物質について、アスファルトより土のほうが濃度が高いとの話もありますので不安です。それについても説明してください。

A 近隣の方々に事前の説明もなく作業を実施した件につきまして、大変申し訳ありませんでした。お詫びいたします。今回の作業は、砂の飛散防止のために敷地に草花を生やすための種子吹付け作業で、洋芝(バミューダグラス、ケンタッキーブルーグラス)とホワイトクローバーの三種類の種子と、肥料、木質セルローズの保護材、粘着材(クリコート)を水に混ぜて散布したものです。人体には害があるものではありません。当面は粘着材により砂の飛散を防ぎ、その後は洋芝とホワイトクローバーにより砂の飛散を防止したいと考えています。本来であれば6月末に土地の引き継ぎを受けてから散布する予定でしたが、出来る限り気温が高くなる前に播きたいとの焦りから、このような対応を取ってしまいました。重ねてお詫びするとともに、今後、当該地で作業等を行う場合は、近隣の方々に事前にお知らせをいたします。

放射性物質について、区では空間放射線量の測定を行っており、測定結果についてはホームページでも公表しています。現在の測定値は健康に影響を与えるレベルではありません。また、それらの結果では、アスファルト、土、砕石ダストで大きな差異は認められておりません。

* その他

Q KSC跡地の横にあるJR軌道下の狭いトンネル通路は自転車の通行が多く、また、バイクも侵入してくる等、歩行者の通行が大変危険ですので対応をお願いしたい。

A 当箇所は、最近通行量が増えたためか、歩行者や自転車利用者共に様々なご意見を頂いています。現在、所轄警察と協議しながら対応を検討しているところです。

Q 金町駅には西口はできないのですか？

A 区では、これまで将来の需要予測などをＪＲ東日本に情報提供し、意見交換等を適宜進めて参りました。ＪＲ東日本の金町駅に対する見解は、現在の駅施設である程度余裕があるとの見方であり、新たな改札口の設置などは難しい状況です。自治体が経費を負担する例もありますが、初期投資や維持管理経費が高額になり現実的ではないと考えています。一方で、区とＪＲ東日本では、金町駅の自由通路の拡幅などについて、新小岩駅南北自由通路の例を参考に検討を進めている状況です。